

気候危機打開へ、待ったなし!

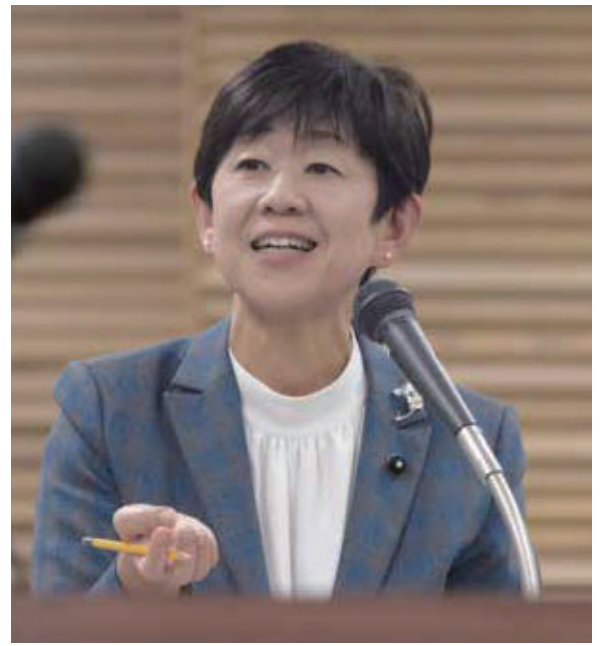
県のCO₂削減目標の

引き上げを求める

日本共産党 ひづめ弘子県議

11月定例会県議会は、新型コロナ対策を含む49.3億円余の補正予算案などを全会一致で可決しました。

ひづめ県議は予算特別委員会で、①米軍戦闘機低空飛行訓練 ②県民生活への支援 ③県内製薬企業による法令違反 ④35人学級と教育問題 ⑤気候危機打開— などを取り上げました。



12/8予算特別委員会で

5月の地球温暖化対策推進法改正を受け、県も来年度「温暖化ストップ計画」を改定します。

低すぎる2030年までの日本のCO₂削減目標

日本政府が決めた2030年までの温室効果ガス削減目標は、2013年比で46% (2010年比41.6%)。10月にイギリスで開催された国連気候危機変動枠組み条約締約国会議(COP26)では、各国から50%削減を超える「野心的」目標への見直しが相次ぐなか、日本の目標の低さが浮き彫りに。県がその水準に止まることは許されません。

長野県の削減目標は2013年比60%

ひづめ県議は、富山県が「環境先端県」をかかげ、包蔵水力(水力発電の可能性)が全国2位であるなど、再生可能エネルギーの宝庫であると強調。長野県の取り組みを紹介しながら、県目標の大幅引き上げを要望。

知事も「意欲的な目標になるよう検討したい」と答えました。

北陸電力の石炭火力2024年度に1基廃止

世界的に石炭火力からの脱却が求めら

昨冬の豪雪ふまえ 県道の除雪体制を強化

災害級の豪雪の際に県は、旧国道8号線や富山市北部の八幡田・稲荷線など県道15区間で、新たに日中除雪を実施することを決めました。富山港線など県道14路線では、富山市からの「応援除雪」実施も。ひづめ県議も要望してきました。

10月、黒部ダム上空で 米軍戦闘機が低空飛行訓練 新田知事「2度とあって欲しくない」

10月18日に黒部ダム上空で、米軍戦闘機3機が低空飛行する様子が目撃され、その後16日にも目撃されていたことが報道されました。

日米合意にも違反し 150メートル以下飛行か

黒部ダム周辺は有数の観光地です。ドクターヘリの着陸ポイントも近くにあり、爆音がライチョウの生息にも影響すると指摘されています。日本の航空法は、水上から150メートル以下の飛行を禁止。日米合意でも確認されています。



新田知事あてに「抗議と飛行訓練中止を求める申し入れ」を行う (11/19 安保廃棄県実行委員会)

抗議と飛行中止の申し入れを

知事も記者会見で「こうしたことは2度と起きて欲しくない」と表明。舟橋立山町

長は議会で「どういって看過できない」と述べました。ところが、県の問い合わせに対し、米軍側から何の回答もありません。

ひづめ県議は「米側に抗議し、訓練中止と日米地位協定改正を求めるべき」と主張。知事は「全国知事会とも連携し対応したい」と答えました。



ただだ良介(現、長野県在住) 活動地域北陸信越・東海

いわぶち友(現)

にひそうへい(現)

田村智子(現)

大門みきし(現)

市町村の温暖化対策計画 策定支援を

知事政策局長も「県内2基ある石炭火力のうち1基は2024年に廃止予定」CO₂排出量の少ない発電方式の検討を働きかけたい」と述べました。

改定された地球温暖化対策推進



今年もよろしくお願いいたします。(津本ふみお県議と)

日本共産党県議団 2022年1月

県議会報告 No. 72 ひづめ弘子版



〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12 電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220 Eメール/hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp



11月定例会を終えて YouTube動画検索は

共産党富山県議団

●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。

2022 夏 参院選

比例代表でも がんばります

日本共産党